

はと組

— 年間目標 —

- ◎ 身の回りのことを自分で出来るようになる
- ◎ 保育者や友だちとの関わりの中で自分の気持ちを言葉で伝えられるようになる

— 1学期目標 —

- ◎ 新しい環境に慣れ、園生活の流れを理解し、保育者に見守られながら遊びを楽しむ
- ◎ 保育者に親しみ、友だちと関わりを持ちながら、集団生活に必要なきまりを知って元気に過ごす

— 活動内容 —

いっしょにあそぼう！

(健康な心と身体、共同性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、豊かな感性と表現)

- ・ 4月・5月は一人遊びが多くみられたが、ブロックやプラレール等の遊びを通して子ども同士の会話が増えていった。
- ・ 友だちに声をかけるのが難しく、近くに立っているだけの子どもや涙が出てしまう子どもの姿が見られた。
- ・ 一緒に遊びたい時はどのように声を掛けたら良いかとクラス全体に問いかけた。「仲間いれて」や「一緒に遊ぼう」等の意見が出た。
- ・ 話し合いをした次の日から「いれて」と言って一緒に遊ぶ姿が多く見られるようになった。
- ・ 7月頃になると友だち同士のやり取りが増え、少人数だった遊びが全体に広がっていった。



ひとりでできたよ

(健康な心と身体、自立心、共同性、道徳性・規範意識の芽生え)

- ・ 進級、入園当時は「先生やって～」と言っていた子どもも毎日の積み重ねで少しずつ朝の準備など流れを覚え、一人で準備が出来るようになった。
- ・ 体操服に着替えた後の制服も保育者と一緒に畳んだり、他の子どもが畳んでいる様子を見たりしながら練習し、畳んで片付けることが出来るようになってきた。
- ・ 園での様子や対応を保護者にも伝えた事で、家でも着替えに挑戦し、登園時に「今日ひとりでお着替えできた」と笑顔で伝えに来る子供も増えた。



— 1学期の反省 —

- ・ 園の雰囲気や一日の流れを理解し、朝の準備など簡単な身支度を出来るようになった。スモックやブラウスのボタンは難しい所もあるため、引き続き練習していきたい。
- ・ 遊びを通して友だち同士の会話が増えた。しかし、自分の気持ちを言葉で伝えられず手が出てしまったり、黙り込んでしまう場面も見られた。

— 2学期の目標 —

- ◎ 友だちとの遊びを楽しみながら、自分の気持ちを言葉で伝えようとする。
- ◎ 様々な行事への期待を持ちながら、練習や活動に参加しようとする。